

佐賀・唐津の海はヨット・ヨット・ヨット・・・で埋まりました。

JOCジュニアオリンピックカップ2014

& 第5回西日本ジュニア・ユース交流セーリング選手権大会に参加して

5月3日から6日のゴールデンウィークに2つの大会が唐津で行われました。

B&G 高松海洋クラブからは、レーザー4.7クラスに4名、OP級に5名が参加しました。結果は、OPAは勇斗が総合10位で小学生2位、真大が12位、拓斗が26位、一樹が44位、OPBで陽渚が11位でした。勇斗、真大、拓斗は西日本OP大会(8月29日～31日唐津市)で11月1日～3日、広島観音マリーナで開催される全日本のクオリファイがとれるところまで来ました。

なお、レーザー4.7は全員実力を発揮するところがなく、課題が多い大会でした。

この大会はJSAFジュニア・ユースセーリングチャンピオンシップ2014のユース部門の29er級(4艇)・420級(9艇)・レーザーラジアル級(23艇)・レーザー4.7級(58艇)の世界選手権大会代表選手選考会も兼ね、その上にFJ級(52艇)も参加しました。

OP級(79艇)の第5回西日本ジュニア・ユース交流セーリング選手権大会も同じ日程で行われ、広い唐津のハーバーも225艇、約300名のセーラーとディンギーで埋まりました。

3日はOP級はレーザーと4.7は「身体能力測定」が行われシャトルランや反復横跳び、腕立て伏せ・懸垂など6種目で能力テストが行われ中学生の3名が参加しました。

4日は両大会とも開会式が大テントの下で行われ、OP級Aクラスはチームレースの講習会、Bクラスはプラクティスレースを実施しました。

午後からはOPAクラスは4名でチームを組み、チームレースを行い真大のチームが優勝しました。

ユース組は昼前からハーバーから約6～7km沖合でレースが始まり、夜はコーチや保護者を含め約400名の大パーティでした。

この大会は3海面を使いレースを行いました。大会期間中は3mから8m前後の風があり、OP・Aクラスは7レース、OP・Bクラスは10レースが実施されました。

ユース組は29erは11レース、他は予定の8レースを消化しました。

レーザー4.7は叶子が8月8日から唐津で開かれる、ワールドの代表選手に選ばれましたが、男子の3名は代表に届きませんでした。